

課題名：

「コーラル・トライアングルにおけるブルーカーボン生態系とその多面的サービスの包括的評価と保全戦略」

"Comprehensive Assessment and Conservation of Blue Carbon Ecosystems and their Services in the Coral Triangle (BlueCARES)"

暫定研究期間： H28年6月～H29年1月(?)

プロジェクト期間：H29年2月(?)～H34年3月の約5年間

予算規模：総額で約4.8億円

(内訳) JST 委託研究費分：総額 約1.8億円 (間接経費込)

JICA 事業経費分：総額 約3億円 (間接経費なし)

日本側研究代表者・代表機関：灘岡和夫・東京工業大学

国内参画機関：東京大学大気海洋研究所、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所、森林総合研究所、東海大学海洋学部海洋文明学科

相手国：フィリピン、インドネシア

プロジェクト概要 (プレスリリース用)：

本研究は、世界的に見て生物多様性がきわめて高い「コーラル・トライアングル」と呼ばれる地域の中心に位置するフィリピンとインドネシアを対象に、沿岸生態系が蓄える炭素(C)であるブルーカーボンに着目し、沿岸生態系の保全や回復力の強化がブルーカーボンの増強につながり、ひいては地球環境改善にも貢献する「ブルーカーボン戦略」を、さまざまな調査やモデル開発・分析に基づいて策定・提言することを主な目的としている。そのために、両国沿岸域におけるブルーカーボンのストックの空間分布構造のみならず、その動態を規定するさまざまなフラックスの実態を定量的に明らかにするための現地調査を多角的に実施し、その成果に基づいて、物質循環・炭酸系動態・生態系応答などに関する、新たな統合モデル体系を構築する。その上で、構築されたモデルに社会経済的パラメータをリンクさせた将来シナリオ分析などを行うことで「ブルーカーボン戦略」を策定し、両国政府に提言する。

- H28 採択課題プレスリリース (JST) -

<http://www.jst.go.jp/pr/info/info1181/index.html> (和文)

http://www.jst.go.jp/pr/info/info1181/index_e.html (英文)